



仲間と共に

学校目標 「めあてをもち 仲間と共に やりぬく心」

令和3年6月28日

誰に相談してもいいんです。・・・「三輪っこ理解チャレンジデー」

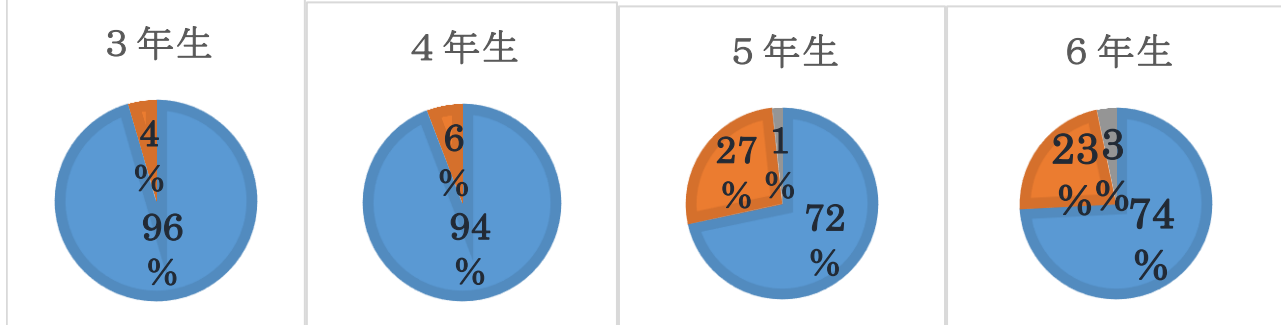
校長 小野木義浩

6月上旬に、「三輪っこ理解チャレンジデー」を2日間にわたって行いました。三輪南小学校では、「職員全員で子供全員を育てる」の意識で、大切な子供たちに関わって伸ばしていこうと考えています。教員が、いろいろな場面で、子供たちにタイムリーな声かけやサポートができるようにしていきます。これまでも、高学年を中心に、教員が交代して自分の担任する学級以外にも専門教科を教えに行く「交換授業」を積極的に位置づけてきています。また、どの学年でも、学年体育・学年集会など学年でいっしょに取り組む活動を仕組み、学年の子供理解が比較的進んでいる状況もあります。

今回は、学年の子供たちのことをもっと知るために、担任が隣の学級の担任と交代して授業だけでなく、朝の会や休み時間も接する機会をつくりました。子供たちにとっては、「困ったことがあったら、担任だけでなく隣の話しやすい先生にも相談できる」という「相談のチャンネル数」が増えることは大切なことです。また、わたしたち教員にとっては、隣の学級に入って指導することで、改めて自分の学級の経営のあり方を見つめたり、自分の話し方、指導方法などを振り返ったりするよい機会にしたりできました。

「チャレンジデーはどうでしたか？」

■ やってよかった ■ どちらでもない ■ よくなかった



＜子供たちの声の一部を紹介＞

- 2組の先生や1組の先生がどんな先生か前より知れたので、困ったときに相談できそう。(3年生)
- 教え方も先生によってちがって、授業がおもしろかったからやってみてよかった。(4年生)
- いろいろな先生と関わり合っとても楽しかった。もっと話してみたい(4年生)
- 5年生は、いつも先生が入れ替わって授業をしているので、特別にかわらなかった。(5年生)
- 話しやすい先生がわかった。だから、相談できそうな先生が増えるかも知れない。(6年生)
- 朝の会が担任の先生とちがう先生だったので、いつもちがう話が聞けてとてもよかった。(6年生)

＜教職員の声の一部を紹介＞

- 他のクラスの子供の様子や雰囲気、ルールなどがわかった。自分のクラスのよさや改善点が見つかった。
- 高学年は日常的に授業交換をしているので、特に変わったことはなかった。
- 担任は、授業の交換はするが、朝の会などに入ることはないので、新たな発見があったと感じる。

＜目指すのは・・・★全教職員が、全校児童の顔がわかって育てていくことができる学校、

★「学年の子供たちを学年の教員が責任をもって指導」できる学校、

そして、★子供たちにとっては、担任以外にも「話しやすい・話せる先生」がいる学校！>